



3月18日(土) 天気：曇り

昨夜からの雨もあがり、まずはシューベルト花壇の植栽です。シューベルト花壇は、平成25年に兵庫丹波の森協会とオーストリアのウーン市13区の友好親善提携20周年の記念として玄関前に作られたものです。

杉本サポーターが「金明孟宗竹」という珍しい竹で作ったプランターに、色とりどりのゼラニウムを植え、花壇に飾り付けました。

次に、里山倶楽部の皆さんが公苑の親水河川エリアの一角に計画されているクリンソウの花壇の候補地を見学しました。クリンソウの苗を植える予定でしたが、雨で地面がぬかるんでいたため、今日は植えずに、ひとり一鉢ずつ自宅に持ち帰り、栽培や観察してもらうことにしました。



塾生は、これまでの活動で原木の玉切りやシイタケ菌の駒打ち体験しましたが、今日は、先輩が栽培し、こぶし程の大きさに傘がひらいたシイタケを収穫しました。



その後、閉塾式を行いました。芦田副塾長の挨拶の後、この一年間の活動をスライドで振り返り、塾生一人ひとりが一番楽しかったこと、感じたことなどを発表しました。「ツリーイング」、「土器づくり」、「尾根登り」、「フラワーボックスづくり」が楽しかった、「新しい友達ができて嬉しかった。」等々、色んな感想を聞かせてくれました。

また、この一年間塾生の活動を見守り、指導いただいたサポーターからも、塾生に贈る言葉をいただきました。

そして1班班長の山本輝洋さんが、塾生を代表して修了証書を受け取りました。また、卒塾の記念として杉本サポーターからクリンソウの苗と卒業花といわれる「アオモジ」のプレゼントがありました。



最後に、塾生の皆さんには、この塾での体験で学んだことを生かし、これからも様々なことに挑戦し、元気で活躍されることを期待しています。

そして、また丹波の森公苑の里山で会える日を楽しみにしています。

